

患者様と病院をつなぐ

かけはし



総合案内



療養型病床クリスマス会



マルチスライスCT



リハビリ



食事指導

病院開設の理念

1. 地域住民に信頼される病院
2. 地域医療機関に信頼される病院
3. 職員に信頼される病院



広報紙創刊のご案内



病院長 櫻井 俊弘

当院は、昭和51年の開設以来、芦屋町をはじめとする地域住民の方々に支えていただいております。一昨年には30周年をむかえることができました。その間、「地域住民に信頼される病院」、「地域医療機関に信頼される病院」、「職員に信頼される病院」を病院開設理念とし、種々の取り組みを行ってまいりました。

当院の診療は「説明と同意に基づく医療」を基本としています。診察や種々の検査などによる診断結果、薬や手術などの治療について説明を行います。説明には医学専門用語はなるべく使わずにわかりやすい言葉を用いることを心がけています。そのうえで、十分に理解していただき診療を行います。また、総合受付に専任看護師（ケアマネージャー）を配し、入院・転院、介護認定の相談などあらゆる相談にあたっています。

療養型医療と急性期医療の融合にも取り組んでおります。当院の病床は137床ですが、その内訳は急性期の治療を行う一般病床（97床：2病棟・3病棟）と長期療養を行う療養型病床（40床：4病棟）に分けられます。肺炎などの内科系の病気、骨折や悪性腫瘍など手術を必要とする病気は、まず一般病床で治療を行います。退院後に在宅治療が必要であれば、訪問看護ステーションとの連携のもと効率的な在宅介護支援業務を行います。また、長期の療養やリハビリテーションが必要となれば療養型病床にて診療を継続していただきます。

外来は、受診していただきやすいように、週日のみならず土曜日にも診療を行い、4年前より午後診療を導入いたしました。また、救急患者さんの診療にも配慮し、救急車で来院のみならず、ご自分で来院された患者さんにも対応しています。

ここ数年、機器の導入を積極的に行ってきました。3年前にマンモグラフィーを導入し乳がんの診断が精密にできるようになりました。また、一昨年には16列マルチスライスCTを購入し、脳血管の状況把握や肺がんの診断精度が向上しました。同時期に、デジタル画像を診察室や病棟に配信するシステムを導入しましたが、この画像配信システムによりCT検査、超音波検査、内視鏡検査などの画像を、診察室でリアルタイムに見ていただいています。消化器内視鏡は、小さな病変の診断に対応するためハイビジョン化を進め、さらにアルゴンプラズマ凝固装置を設置し早期胃がん・大腸が

んに対する新しい内視鏡治療にも取り組んできました。

これらの取り組みは逐次、町役場発行の町内広報紙にて紹介しておりますが、町外の患者さん・住民の方々への情報伝達は十分ではありませんでした。また、診断や治療については可能な限りわかりやすい説明を行っておりますが、患者さんやご家族が病気やその治療についての基本的な知識を持っていただければ、さらに理解が深まると思われます。そこで、病院での診療をご紹介することを目的として広報紙を発刊することにいたしました。この広報紙を病院と患者さんをつなぐ「かけはし」にしたいと考えております。今後、年に数回の発行を目指しており、新しい医療機器の導入、職員の異動、病院主催のイベントなどの紹介をタイムリーに行っていく予定です。患者さんやご家族のご意見を反映し、より良い広報紙にしたいと思っています。こんな病気について知りたい、こんな治療の紹介があった方がよいなどのご意見を職員にお知らせいただければ幸いです。



病院全景



薬局窓口

インフルエンザは 普通の風邪とは異なる病気です



内科医師 是此田 康

インフルエンザは、普通のかぜとは原因となるウイルスの種類が異なる病気で、急な高熱が特徴です。

さらに、倦怠感・筋肉痛・関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は通常5日間ほど続きます。

症状 通常の“かぜ”（普通感冒）はのどや鼻に症状が現れるのに対し、急激な高熱、筋肉痛が特徴的です。しかし、高齢者の場合は症状が出にくいことがあります（食欲低下など）。チェックリストを参照ください。

予防 インフルエンザの予防はうがいや手洗い、マスクなど一般的なかぜの予防と同じですが、予防接種を受けることが有効です。予防接種を受けるとインフルエンザにかかりにくくなり、かかっても重くならなくなります。しかし、100%かからないわけではありません。ご家族や周囲の方もワクチン接種を含む予防とインフルエンザの早めの処置が大切です。

検査 現在インフルエンザかどうかを判断する迅速診断キットがあり、30分ほどで結果がわかります。感染していても初期でウイルスの量が少ない場合は、陰性(-)の場合がありますが陽性(+)と出たら、その診断は確実です。

治療 インフルエンザに効果がある抗ウイルス剤（リレンザ、タミフルなど）があり、治療が早いほど、より高い効果が望めます。市販のかぜ薬は熱、咳、鼻水などの症状を抑える薬ですので、症状軽減は期待できますが、インフルエンザに直接効くものではありません。

65歳以上の高齢者がインフルエンザにかかると重症化の可能性があります。肺炎など合併症を併発することが多いので、体力が低下している高齢者は全身状態を注意深く見守る必要があります。

まずは、予防。そして、かかったかなと思ったらできるだけ早く医師の診断を受けましょう。

重要ポイント

この3つのチェックポイントがそろうことが、インフルエンザの特徴です。

- 地域内でのインフルエンザの流行 38度以上の発熱/悪寒
- 急激な発症
(前触れとしての鼻水や咳、くしゃみなどが続くことなく、急に高熱になって気づく)

要注意ポイント

重要ポイントの他にも次のような要注意ポイントもあれば、インフルエンザを疑いましょう。

- 関節/筋肉痛 頭痛 倦怠感/疲労感 寝込む
- また、次のいわゆる“かぜ症状”もほとんど同時か、やや遅れて現れます。
- 咳/鼻汁/くしゃみ 喉の炎症



新しい医療機器のご紹介

望遠訓練器 (ワック D-5000)



眼科医師 田中 拓司

このような方にお勧めします…

- ☞ 学校の健診で視力低下を指摘された
- ☞ 近視の進行が早い
- ☞ パソコンで眼が疲れる… など



■近視の原因について

近視の原因については多くの議論がありますが、近くを長く見ることによる毛様体筋の緊張が、近視の発生・進行の引き金になっているとの説（近業説）が有力です。

■「望遠訓練器（通称ワック）」による訓練

近視の原因の1つは「調節緊張」が続くことにあります。その調節緊張状態を解くには、遠くのものを見つめる望遠訓練が良いとされています。望遠訓練器（通称ワック）は短時間（5分間）で遠くのものを長時間見たのと同じ眼の状態にする器械です。器械を覗いて両目で遠近感のある写真を5分間眺めます。写真が離れたり近づいたりするのを目で追っているうちに、毛様体筋が緩んだり縮んだりを繰り返すことで筋肉の緊張が取り仮性近視の改善を促します。

学会報告によると、望遠訓練器を近視の生徒に使用した

ところ7～8割の生徒の視力が向上したとのことでした。

特に「仮性近視」の生徒に限るとほぼ全例の生徒の視力が向上したという報告もあります。

「眼鏡をかけたらどんどん進行するので眼鏡はかけない方が良い」と思っている人が少なくありません。眼鏡が必要となる時期と近視が進行する時期が重なっているため、このように誤解されているのだと思います。しかし、近視初期で「仮性近視」のみの場合は治療で治ります。また、適正な眼鏡にその都度調整した方が近視の進行防止になるといわれています（眼鏡の度を強くした方が逆に眼の筋肉が緊張せず楽に見える）。眼科医の適切な指導のもと、できるかぎり近視の軽い早いうちに治療を受けることが大事だと思われます。

なお、この器械は仮性近視の訓練だけでなく、近視の進行防止・老眼の初期・コンピュータなどによる疲れ目の方にも効果を認める場合もあります。



町立芦屋中央病院外来診療担当表

平成20年2月1日現在

診療科	時間	月	火	水	木	金	土
消化器科	午前	櫻井	矢野	大原	矢野	櫻井	消化器科、内科医師で交替 (午前のみ)
	午後		櫻井		矢野		
内科	午前	加来	加来	加来	櫻井	加来	
		西尾	西尾		西尾	西尾	
			村岡	木谷		村岡	
	糖尿病 松下	神経内科 高橋	糖尿病 森田			糖尿病 岡田	
午後	是此田	櫻井	木谷	加来	是此田		
小児科	午前	小窪	永松	大賀(第1・3) 落合(第2・4・5)	馬場		
泌尿器科	午前	井上	井上	井上	井上	井上	井上 第2・4は休診
	午後	井上	井上				
整形外科	9:00~	野々村	内藤	内藤 野々村	野々村	内藤	2人で交替
	10:30~	内藤				野々村	
	午後		内藤		野々村		
外科	午前	井下	永瀧	2人で交替	井下	永瀧	2人で交替
	午後	永瀧	2人で交替		井下		
眼科	午前	田中	田中	手術日	田中	田中	田中 第2・4は休診
	午後	予約検査	田中		第2・4は 予約検査	予約検査	
耳鼻咽喉科	午前	工藤	工藤		工藤	工藤	
	午後	工藤	工藤		工藤	工藤	
腎外来	午前		坂東	坂東	新患のみ 坂東	坂東	新患のみ 坂東
C T		小坂	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂

受付時間

午前 [月曜日～金曜日] 11:00まで [土曜日] 10:00まで

午後 13:00～16:00

総務大臣表彰を受賞

「地域医療の確保に重要な役割を果たし、経営が健全」として、平成19年5月、自治体立病院優良病院総務大臣表彰を受賞しました。これからも地域に根ざした医療に取り組みます。



町立芦屋中央病院

〒807-0101 福岡県遠賀郡芦屋町幸町8番30号

TEL 093-222-2931(代)

FAX 093-222-2176

e-mail hospi@hospi-ashiya-fukuoka.jp

URL: <http://www.ashiya-central-hospital.jp>



JR遠賀川駅から芦屋タウンバス「芦屋」行きにて「芦屋中央病院前」下車。徒歩1分
JR折尾駅から北九州市営バスにて「芦屋町役場前」下車。徒歩8分